

### 第3回蒲郡市地域公共交通連携検討委員会 議事録

- 1 日時 平成29年3月9日(木) 午後2時～3時
- 2 場所 蒲郡市役所 本館3階 303会議室
- 3 出席者
- |     |                 |               |
|-----|-----------------|---------------|
| 委員  | 名鉄バス東部株式会社      | 藤田信彰(代理 加藤紀幸) |
| 委員  | 豊鉄タクシー株式会社      | 上村正美          |
| 委員  | 株式会社かね一自動車      | 石田悦司          |
| 委員  | 総代連合会会長         | 酒井雅幸          |
| 委員  | 総代連合会副会長        | 小林俊雄          |
| 委員  | 総代連合会副会長        | 岩瀬雅史          |
| 委員  | 蒲郡市身体障害者福祉協会    | 金沢孝一          |
| 委員  | 蒲郡市老人クラブ連合会     | 市川紀子(欠席)      |
| 委員  | 蒲郡市社会福祉協議会      | 藤城直司          |
| 委員  | 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 | 小林暁子(欠席)      |
| 委員  | 蒲郡商工会議所         | 佐藤康彦          |
| 委員  | 蒲郡市観光協会         | 鈴木和範(欠席)      |
| 委員  | 形原地区公共交通協議会     | 壁谷権一郎         |
| 委員  | 蒲郡市交通防犯課長       | 竹内正樹          |
| 委員  | 蒲郡市企画政策課長       | 飯島伸幸          |
| 委員  | 蒲郡市観光商工課長       | 池田高啓(代理 金沢恒輝) |
| 委員  | 蒲郡市都市計画課長       | 神谷時康          |
| 委員  | 長寿課長            | 三浦正博(代理 竹澤明美) |
| 委員  | 福祉課長            | 平岩和明          |
| 委員  | 土木港湾課長          | 永島勝彦          |
| 事務局 | 蒲郡市交通防犯課長補佐     | 竹下暁           |
|     | 蒲郡市交通防犯課主事      | 足立昌平          |

#### 4 議題

- (1) あいさつ
- (2) 蒲郡市地域公共交通連携検討委員会について
- (3) 委員自己紹介及び役員の選出

#### 5 協議事項

- (1) 蒲郡市地域公共交通事業の推進に係る行動『指針』等に係る自己評価について

#### 6 その他

#### 7 議事内容

(1) 開会

- ・ 出席委員が17名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通連携検討委員会設置要領第6条2項の規定により会議が成立することが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

- ・ 交通防犯課長より、第3回目の委員会であること。昨年度この会議にて「蒲郡市地域公共交通事業の推進に係る行動『指針』」について協議を進め、策定に至った。この『指針』では、それぞれの役割分担や支線バスの評価基準等について定めている。今回の会議では、この支線バスについての評価と蒲郡市の公共交通行政に係る全体計画である、「蒲郡市地域公共交通網形成計画」の進捗評価の中間評価について、実施させていただきたい。各評価、他の分野との情報交換の場として、公共交通に関わる様々なご意見をご発言いただき、地域連携につなげていくことが出来ればと考えております。

それぞれの分野について広い見識をお持ちの皆様にお集まりいただいております。本市の公共交通の維持、発展のための連携についてそれぞれのお立場から、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を頂戴したいとの挨拶があった。

イ 蒲郡市地域公共交通連携検討委員会について

- ・ 事務局より、別添の蒲郡市地域公共交通事業の推進に係る行動『指針』に基づいて、説明が行われた。

〔質 疑〕

(委 員)

- ・ 初めて参加する人については難しい内容。
- ・ 行動指針なるものがどのような位置づけになるのか、交通会議との位置付けなどわからない。もう少し説明がほしい。

(委 員)

- ・ 行動指針を読んだがよくわからない。ようは利用促進をしましょうということか。

(事務局)

- ・ 基本的には、利用促進等の公共交通の取り組みについて関係者の連携による行動指針を整理しているもの。
- ・ 関係者の役割分担を確認するものとして別添資料を準備した。3ページに整理している。

(委 員)

- ・ 赤い電車は、企画政策課で対応しているのか。

(事務局)

- ・ 赤い電車は、交通防犯課に4月以降所管変えをした。

- ・当該指針は、昨年策定したものなので、その点変更していない。

#### ウ 自己紹介及び役員の選出

- ・ 委員自己紹介
- ・ 蒲郡市地域公共交通連携検討委員会設置要領第5条2項により会長が選定された。
- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

### (3) 協議事項

#### ア 蒲郡市地域公共交通事業の推進に係る行動『指針』等に係る自己評価について

- ・ 事務局より、資料1、2に基づいて説明が行われ、結果について蒲郡市地域公共交通会議に報告することとなった。

[質 疑]

(委 員)

- ・ 会議をつくった時について、三谷地区にもフィーダ一路線の計画があったのか。

(事務局)

- ・ 計画はない。地元での気運ができれば、地元協議組織とともに計画をつくることとしている。

(委 員)

- ・ 三谷地区、豊岡地区の総代に対して説明会が行われたが、必要としないという意見が多かった。

(事務局)

- ・ 市内には、交通空白地があり、三谷地区にも交通空白地があるため説明会を開催させていただいた。

- ・ 必要としないという状況だったが、継続して議論する必要性があると聞いている。

(委 員)

- ・ 現状の路線バスは、走っていない時間帯がある。これも空白地ではないか。

- ・ 青いバスはふえたが、赤いバスが少ないという意見がある。

(事務局)

- ・ 空白地は、まったく公共交通機関がないところ。路線バスの便数が少ないという意見も聞いている。

- ・ 昔は、バス本数多かったが利用されなかった。利用されないので、便数が減ったという経緯がある。計画でも、まったく無くさないように既存路線の存続に尽力するとしている。

(委 員)

- ・ くるりんバスの乗降客数の把握はしているようだが、路線バスのモニタリングはしているのか。

- ・ 路線バスは非常に重要な社会インフラだと思う。路線バスの事業を検証をしていく

必要があるのではないか。

(事務局)

- ・ 利用実績のデータは、報告を受けて把握している。

(委員)

- ・ 廃止され、縮小傾向になっていく。じり貧になるのはどうかと思う。
- ・ 市として、タクシーチケット事業など実施しているが、路線バスについても深掘して議論してほしい。

(委員)

- ・ くるりんバスは、平成24年に議論を開始した。
- ・ 当時は形原温泉のバスがあったが廃止された。総代に対して住民から何とかしてほしいという意見を聞いていた。そうした声があったので、総代会から市に対して話をし、検討委員会を立ち上げて研究することを開始した。
- ・ 他自治体では議論されているが、蒲郡市では議論がされていなかった。そのため、我々にて、検討委員会を設置して議論を開始した。並行して、交通会議において、空白地でのコミュニティバスの議論がされる話があり、形原地区から手を挙げて、検討委員会を基に協議会を設置し、市と多くの議論を行い、バスを構築した。
- ・ こうしたものを作るには、地域で組織を立ち上げないと進まない。受け身では進まない。
- ・ 本当に地元の人意見を吸い上げないといけない。必要とするところから手を挙げて、進めないといけない。
- ・ 町民の皆さんに理解されるには時間がかかった。口コミ等で広がり、固定客もできてきた。利用される人も多様化してきた。免許証の返納した人もいる。
- ・ 路線バスへの乗換えや市民病院から地元の病院の利用に移るような人もいる。もっと充実してほしいという意見もでてくる。
- ・ 簡単にできるものではないが、地域で立ち上げる、地域の代表が頑張る必要があるのではないか。

(委員)

- ・ 税金を投入している。年間400万円の負担があると聞く。
- ・ 将来はわからないが、今は必要ないという意見が多い。

(委員)

- ・ 他自治体でも補助がないと維持できない。

(委員)

- ・ われわれは現在はいらない。将来はわからないというのが地元の結論。

(委員)

- ・ いろんな意見があると思う。くるりんバス、路線バスをどのように充実を図っていくか。トータルとして、コストパフォーマンスを得るようにしていく必要がある。

(4) その他

- ・ 次回は必要に応じて開催させていただく。開催の際には、には事前に通知することを連絡し会議は終了した。